

第 8 回議会報告会概要報告一覧

担当班	開催月日	開催時間	場 所	出席者数
1 班	11 月 20 日 (木)	19:00～20:40	宮古市役所	1 5 名
	11 月 22 日 (土)	10:00～10:00	重茂公民館	0 名
	11 月 22 日 (土)	14:00～16:00	赤前小学校グランド 仮設集会場	7 名
2 班	11 月 20 日 (木)	19:00～20:45	西ヶ丘地区センター	5 名
	11 月 22 日 (土)	10:00～11:45	グリーンピア三陸みやこ 応急仮設住宅集会場 (多目的グランド内)	1 1 名
	11 月 22 日 (土)	14:00～15:45	崎山公民館	1 0 名
3 班	11 月 18 日 (火)	19:00～21:00	山口公民館	1 1 名
	11 月 22 日 (土)	10:00～11:30	門馬地域振興センター	8 名
	11 月 22 日 (土)	14:00～15:30	川井生涯学習センター	7 名
4 班	11 月 21 日 (金)	19:00～20:45	鍬ヶ崎学童の家	6 名
	11 月 22 日 (土)	10:00～11:50	弘川地区会館	7 名
	11 月 22 日 (土)	14:00～16:00	磯鶏公民館	1 1 名
5 班	11 月 21 日 (金)	19:00～20:45	千徳公民館	6 名
	11 月 22 日 (土)	10:00～11:45	新里福祉センター	7 名
	11 月 22 日 (土)	14:00～15:45	花輪農村文化伝承館	8 名
計			1 5 ヲ所	1 1 9 名

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月20日(木) 19時00分～20時40分 会場:宮古市役所	15名	〔1班〕 工藤小百合 今村正 白石雅一 松本尚美 田中尚 加藤俊郎
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
常任委員会は資料では4つですが別部分(広報)で5つなのは何故か。	基本的には常任委員会が4つ、冊子では合同委員会が1つ入っています。	
委員会は4つから3つになるのはなぜか。委員会としての機能は今までどおり保てるのか。	総務、教育民生、経済、建設の4つだがそれぞれの所管する範囲の違いがあり、作業内容に差がでている。作業内容の多いところ少ないところがあるので4つから3つに再編する話は以前から出ていた。案としては経済と建設を一つにする案が出ている。	
宮古の方向性、ビジョンはどんなものを持っているか。何を持っておもてなしの観光なのか。文化活動についてどう考えているのか。三陸沿岸の文化の中核になるのでは。文化財の保存は。もっと地元の文化を知るべきだと思うのだがどうお考えか。	宮古市は平成17年の合併の際、「森・川・海と人がやすらぐ共生のまち」という将来像を掲げ、産業立市、教育立市として総合計画を行ってきた。27年度から総合計画の見直しを行う中で、文化活動についても入れて反映させて行きたい。	
岩手日報での宮古市の住みやすさランキングは14市中13位。森川海の宮古市で海が見えない防潮堤はどうなのだろうか。具体的な中身の濃い委員会をこれからはして欲しい。	今までは当局の提案のチェックを行ってきたのでこれからは、個々でやって来た街づくりに関する意見を定住化促進特別委員会立ち上げたのでオール議会でやって行きたい。	
12月の議会で議員定数を決めるのか。議員定数はどうやって決めるのか。	議会の権限として本会議の多数決で決まっていく。定数については共通の認識を持って議員から提案する。	
清寿荘の水道代の経緯はどういう事なのか。	資料にもあるが仮設住宅建設の際に清寿荘から水道管を接続した。その際、料金に関して仮設住宅側、清寿荘側と分けなければならなかったところを分けておらず、結果両方から水道代を徴収し二重とりになってしまった。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
少子高齢化社会で人と話す機会が減っている。その結果言葉が出てこなくなる。気持ち暗くなり「死にたい」という言葉が出て来ている。どんな声が仮設から出ていますか。	グリーンピア田老の仮設ですが、当初 900 人以上の方がいましたが、現在 3 割以上の方が減っています。一生懸命外に出てくる人もいますし、引きこもったままの人もいてそれぞれだと思います。国の政策で社会福祉の方々が見守り事業をしていますし、シンガポールの支援を受けてサポートセンターが建設され、集いの場所になっている。 また、読み聞かせ、聞き取りボランティアが男の談話室を開いているが、今年度で支援が終わってしまう。個人的には続けてほしいと感じている。 見守りの方々はどうしても玄関から先には入れない。ひきこもりの度合いは個々で違うので、今後も継続して対応策をとって貰いたいと思っている。
市役所の移転は決定済みですか。	市としては災害時に市役所が災害拠点の活動が出来なかったので市長部局としては決定済み。市民の皆さんからアンケートとり、意見を募った。今後は議会で移転も含め、しっかりと街づくりに関して協議をしていきたい。
道路のわだちがトラックのせいで増えて来ている。わだちを直す予定は無いのですか。	積載が山盛りのトラックが昔は多かったが、今は規制が厳しい。しかし、タイヤに挟まった石などで道路が痛む場合がある。市道はもともと県道、国道より耐久性が弱く、大型トラックには国道や県道を通るようにお願いしている。
バイパス沿いのドラッグストア近くに段差が有り、積み荷のないトラック等の振動音がひどい。どうにかならないのか。	市道ではなく県道なので県へ要望を出しておく。
山口川に復興道路の雨水、排水が流れていて水位が高くなっている気がする。雨水対策はどうなっているのか。	復興道路の雨水等は支流を通じて山口川に流れるようになっている。地盤沈下なども起こっているので、改善要望を今出している。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
	また、近辺の法面がまだ新しく安定していないので排水対策を県にお願いしている。
末広町の衣料品店近辺に海水が上がってきている、近くのガソリンスタンドにポンプは設置できないか。	震災による地盤沈下の箇所を重点的にやっているもので、山口川近辺に設置する予定はない。
藤の川の浜辺について、海水浴場が壊れて来ている。赤前のように浜を直せるのか。	藤の川については防潮堤を 10.4m で作る予定。その際に砂浜を保全出来るよう要望している。しかし流出した砂浜を赤前のように戻すことはできないと思う。藤の川の場合は自然に戻るのを待つしか無いのでは。
漁港について、漁港は前に戻す形なのか。震災対策のため船だまりプールを作っては。	整備内容は被災前の状態に戻す。宮古市の対応としてはまず、元の状態に戻すのが先決。それぞれの漁港にあった整備の仕方を利用者の方と一緒に考え、使いやすい形で整備していく予定。
宮古病院のところのトンネルはこの前開通式を終えたが、橋がかかる所から、三陸国道事務局の間は土盛りするのか。	道路としては三陸国道事務局の裏を周りスタンドから宮古病院の道路につながる予定。また、谷間は対策をして盛土になる。
防波堤や道路は計画通り進んでいるのか。遅れているところは最長でどのくらいかかるのか。遅れているところでの問題点は無いか。地方創世を宮古市はどう考えているのか。また、宮古市としての取り組みは。	防潮堤は全域で作り直し、嵩上げ工事を予定しておりすべて発注済み。どのくらい遅れているかといえば難しいが、全体で見れば着実に進んでいる。3年で終わらせる予定だったのを5年に延ばすがまだかかると思われる。要因としては人員不足や用地取得の遅れ等が挙げられるが、法律などで対応していく。 宮古市では漁港や高台造成、災害公営住宅や避難道路を担当しており、道路に関しては震災前から早く進めるよう要望していたが震災を受け、7年くらいの工期で前倒して進んでいる。 地方創世に関して宮古市は、元に戻すだけではなく市民が住み続けられるような復興を目指している。そこで位置づけられたブルーチャレンジプロジェクトで、再生可能エネルギー

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
	一を全国的にアピールしているがなかなか進展しない。しかし具体的例としてウッティ川井が木質バイオマス発電をし売電を行っており、宮古市の特性を出していると考えている。 地方創世に関連する法律ができあがり、アイデアや実行力が問われて行く。議会でも定住促進などで提案していく。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 10時00分～10時00分 会場:重茂公民館	0名	〔1班〕 工 藤 小百合 今 村 正 白 石 雅 一 松 本 尚 美 田 中 尚 加 藤 俊 郎

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 14時00分～16時00分 会場:赤前小学校グラウンド 仮設住宅集会所	7名	〔1班〕 工 藤 小百合 今 村 正 白 石 雅 一 松 本 尚 美 田 中 尚 加 藤 俊 郎
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
引っ越し費用5万円について、仮設住宅入居者は転出先にかかわらず全員出るのですか。	市からの説明では、仮設住宅から抜けて公営住宅に行く場合です。	
引っ越し費用5万円は、元あった土地を嵩上げし、そこに家をたてる場合は出ないと聞きましたがどうなのですか。	宮古市では、被災者支援室、建築住宅課、都市計画課の3カ所でそれぞれ被災者の引っ越し等の支援事業を行っております。 まず、被災者支援室では、仮設等から借家に引っ越す方に対し、領収書があれば最大5万円、領収書がなければ最大3万円を補助しています。建築住宅課では、危険区域外に家を建て引っ越す場合に対して補助を行い、都市計画課では、防災集団移転事業で補助を行っております。	
引っ越しが大変で嵩上げなど、これからの住宅を建てる際の費用が後払い精算なのが辛い。手続きも大変で面倒だし、領収書ではなく、請求書でも大丈夫な支援策が欲しい。 現在のままでは、お金を払ってからじゃないと支援金や補助金を受けとれない。赤前地区はこれから家を立てて行く方が多いので、この問題点を早く解決して欲しい。	(要望)	
定数が22人になった場合、議会活動や議員活動に支障は出ないのか。	4年前に議員定数の話題を市民に聞いたが、震災もあり、宮古市の復興のため定数を減らさなかった。しかし震災から3年たち、更に現在は人口減になっている。 それを踏まえたうえ、現在の常任委員会での仕事量のばらつきもあったことから、再編	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
	をかけ 7 人×3 委員会で 21 人。そして議長をプラスし 22 人とした。 地域から議員がいなくなるという懸念もあるが、議会の体制としては問題無いと思っている。
議会報告会は必要か。皆、あまり興味がないのではないだろうか。ちゃんと意見が言える場なのか。	当初は決まったことの報告のみで、要望は受け付けていなかった。しかしそこから脱却し地域の人達との意見交換会をもっと積極的に取り組んで行ける場所にしていきたいと考えている。今回の議会報告会を期に、この意見交換会を広めていきたい。
地域の集会所について、震災以降地域の集まりが悪くなった。仮設集会所は仮設の集まり場所では無いし、いずれ無くなる。 赤前の屯所だけでは狭く、人が集まりづらい。赤前には集会場が無いので、これからの地域活動のために地区センターを作って欲しいのだが、どうすればいいのか。	震災前に赤前にあった漁村センターは、漁協で整備した施設でした。現在宮古市では災害復旧で被災した地区センターや集会所を建設しているが、費用の面などもあり地域の実情に合わせその数を再編している。 これからの地区センターは地域住民が主体となり、積極的に施設の維持管理等に市と共同で関わりあいを持ちながら進めて行けば、今後の地域活動のためにもなると思うし、市としても意見を受け入れやすいのではないかと思う。
排水路について、赤前は排水路が悪く、仮設からの排水が田んぼに入ってしまう海まで流れていかない。相談してもたらい回しにされてしまい解決しない。どうにかならないのか。	もともと赤前地区は排水が悪く工業高校の付近は雨で水がたまってしまう。県で排水ポンプを運動公園側に設置しているが対策としてはまだ足りない。現在、県に要望を出している。 また、現在工事中の県道などの排水路も関わってくるので、注意深く観察したい。市としても改良、改善できるよう全体を見ながら働きかけを行っていく。
運動公園の復旧について、前のままのテニスコートやヘリポートはどのような形になるのか。	震災以降、瓦礫置き場になっていたがそれが片付いたので復旧作業に入ります。内容としては国からお金を貰い、現状復旧として陸

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
	上競技場と野球場を復旧する。テニスコートは震災前から利用者が少ないこと、ヘリポートは浸水区域で危険性があること、キャンプ場についても同じように危険区域のため廃止する方向。 ただし野球場等に避難路を増設し、周辺に駐車場を整備する方向で進んでいる。また防潮堤はその場にあった構造に変更し、野球場に当たらないようにする。今年度中には着工予定です。
宮古市役所の移転を考えているようだがどうなのか。	市のほうがコンパクトシティの一環で駅裏に庁舎の移転を考えている。現在小山田にある仮設の保健センターも一緒にし、総合的な庁舎にしようとしている。
なぜ現在の場所がダメなのか。新しく改築してもいいのではないか。	大潮や高潮での道路の浸水と、津波の危険性が高いので防災拠点となる庁舎を移さなくてはならない。また、今回の移転は国からの補助金で行う事ができる。さらに耐震化工事を 14 億程度の予算で予定していたところだった。また、交流施設の併設も考えている。 震災後に設置した、宮古市議会の復興対策特別委員会では、場所を特定せず移転を市に提言している。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月20日(木) 19時00分～20時45分 会場:西ヶ丘地区センター	5名	〔2班〕 落合久三 中島清吾 伊藤清 竹花邦彦 藤原光昭
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
不用額とはどのようなものか。次年度に繰り越しても同じ事業に使用できるものなのか。	事業のため予算化したが、使用できなかったもの。	
不用額が多い原因は何か。	入札の不調、資材の高騰、人材不足などで計画した事業が出来なかった。	
定住化促進のテーマを3つにした理由は。	定住のため何が必要かと考えた時、まず「働く場の確保」、そして若い世代的に「子育て支援」、そして「住みたい生活環境」の3つの調査研究が必要となった。	
働く場の確保は課題が大きすぎないか。企業誘致すべきと思う。	(意見)	
藤原埠頭の利活用は。	今はテトラの置き場となっているが、今後、早めに撤去して港湾の役割を果たすように要望していく。	
議員定数等について、今までは、報酬が安い、選挙に金がかかるなどで若い人が選挙に出られない状況であった、今回の改革はよかったと思う。4年を待たないで、今回決めた定数に出来ないものか。	(意見)	
近内の公営住宅は、夜、電灯がつきすぎると思う、共益費がかさむのでは。	建築住宅課に報告しておきます。	
西ヶ丘公営住宅、工事現場付近で地盤沈下、道路の陥没があるが保障するのか。業者には言っているが何の回答もない。	周辺の住宅などに被害があった場合には保障することになっていますが、担当課に確認して、後日報告します。	
災害公営住宅に集会施設はあるのか。	基本的にはないが、西ヶ丘住宅には設置予定。	
災害公営住宅に自治会組織はあるのか。	地区で決めることです。	
民生委員、行政連絡員の選任の基準はあ	民生委員はあると思います。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
るのか。	
新里地区では区長制にしている、宮古は自治会である、同じ宮古で、なんで違うのか。	宮古の町内会、自治会を区と呼んでいる。
震災前、藤原埠頭に木材の乾燥施設を作る計画であったそれが震災でなくなった。今後地域産材を生かしていくうえで、乾燥施設を作るべきである。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 10時00分～11時45分 会場:グリーンピア三陸みやこ仮設住宅集会場	11名	〔2班〕 落合久三 中島清吾 伊藤清 竹花邦彦 藤原光昭
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
不用額の内容について、繰越額に不用額が入っているのか。	次年度一部積立、事業にも使われる。	
交付税はどの位ずつ減っていくのか。21億円減るといえるが、毎年なのか。	全体で21億円になる。	
特例債の返済が始まると思うが。	10年後から始まります。	
被災者入居支援事業は防災移転事業の7万円とは全く別物なのか。田老の場合2ヶ所に団地が出来ると、全て適用になるのか。	防集移転は、それはそれで使って今回の5万円は皆様に適用する。	
公営住宅の管理を民間委託すべきと思うが検討状況は。	今後人口減少にともない、職員数も減少する、その中で職員が管理するのが困難になることから27年度から指定管理を検討している、まだ決まった訳ではない。	
田老の現状、防潮堤の復旧第一線堤14、7mが完成後に第二線堤を作ると言うことで納得して印鑑を押したが、今だに海が見える状況である。区画整理を行っても家を建てる人はいないと思う、旧役場付近はかなりの空き地がでると思う。	住まいの再建が遅れているのは、防潮堤の建設が遅れているためと思っている。今進めている区画整理を行い、にぎわいの街を作る事である。今後皆様から意見を聞きながら、市に提言して行きます。	
区画整理事業、国道をフィードバックした後の空間の土地利用、商店街などが形成されるのか。熊野神社付近に今後何軒の家が建つのか、それによって集会施設が必要になる。	今後街並みがどのように変わっていくのか見ながら要望にそうよう後押しして行きたい。	
議員定数の検討について、今の28名で多いと判断したのか、働く議員であれば減らす必要はないむしろ増やしても良いと思う。	昨年の報告会でも議員定数について説明しましたが、減らすべきとの意見は出なかった。今回、現状の28名で選挙した結果無投票となり、市民から批判を受け減らすこと	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
	としました。
仮設住宅の世帯分離を緩和してほしい、子供も年頃になり不都合な時もある。	今は 15 歳から分離出来るようになってい るはずですが、確認して連絡します。
来年 11 月公営住宅が完成し入居が始まる。仮設に残る世帯は 200 位と思う、もし集約するとなれば、新たな所に行く事となり、色々と負担も出てくると思われる、出来れば集約されないことを願う。	学校などに建設の仮設住宅を優先に集約が始まる。
田老から出て都会などで暮す方々がお盆、正月など帰って来たいと思うが、泊まる所が無いと帰れないでいる。できれば、空仮設を臨時の宿泊施設にしてもらえないものか。	意見としてお聞きしておきます。
乙部高台住居表示はどの様になるのか。また、住民から市に提案してどの位時間がかかるのか。	住民が理解していないため、もう少し時間がかかる。
避難所に危険が発生した場合、他に避難する際の道路が無い。区画整理地内に進入禁止道路が 2 ヶ所出来るが理解できない。	避難道路として地域から要望が上がっているか、危機管理課を確認します。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 14時00分～15時45分 会場:崎山公民館	10名	〔2班〕 落合久三 中島清吾 伊藤 清 竹花邦彦 藤原光昭
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
人口減少、鶏が先か卵が先か、震災後、元の場所に戻りたいが商店、医療機関もないなどで宮古を離れるのではないか。	特別委員会を設置し現状課題を捜して歯止めをかけ、住みよい宮古を作って行きたい。	
地元宮古の環境を良くしてもらおうことが、人口流出を止めることにつながると思う。	鉾ヶ崎地区で区画整理事業を行っているが、元の場に戻ってくる人が何人いるか不明である。	
震災後、崎山地区自治会では150人以上人口が増えていて、道路、側溝等の整備を要望しているが、なかなかやってもらえない、一方では田老観光ホテルを多額の金額で買収している。もっと身近な所にも目を向けてほしい。	(要望)	
田老地区から多くの人が崎山地区に家を建てて住んでいるが、学校は田老に通っている状況であり、あまり好ましくないと思う。	(意見)	
増田寛也の人口減少問題の提言を信じてはダメ、人口を増やそうと言うよりも環境整備（医療施設、子供、働く場）を行うことが必要と考える。	議会の特別委員会は確実に減少する数をいかに少なくするかを議論している。	
Facebookを使用している議員は議会の事は全く書いていない。議員の政策や会派ごとに政策提言をしてほしい。	今回は無投票であったので、候補者の公約広報は出さなかった。	
宮古病院の不便さ、予約以外では診察してもらえない、何とかならないか。	宮古病院の院長は救急と入院手術を専門としたとの考えです。運営委員会の方に意見を申し上げて行きます。	
国の住みよい街ランキング、宮古市はワーストだ。原因は仕事が無いなど。秋田県	(要望)	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
八郎潟が１番の理由は、子育てしやすい、出産無料、高校生まで医療費無料などである。宮古の地場産業を誘致も含めて確立してほしい。それが、若者が宮古に残ることにつながる。	
国道４５号線、崎山小、中学校入口付近の押しボタン信号機を感应式に変えてほしい。工事用車両などで交通量が増え、出入りが困難な状況である。	関係機関に報告しておきます。
道路の穴ボコ状態が多く見られる。何とかならないか。	地域の代表者なりが建設課に連絡すれば、早く対応します。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月18日(火) 19時00分～21時00分 会場:山口公民館	11名	〔3班〕 坂下正明 鳥居晋 須賀原チエ子 橋本久夫 坂本悦夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
【議員定数について】 定数削減は全国平均の数からこの数字が出たのか。合併して大きくなっているのに定数を削減するというのはどういう経過理由か。	行財政改革の一環として、削減の方向で考えている。前回定数削減の議論もあったが、震災で見送った経過もある。	
定数は皆で話し合った結果での人数であった方がいいのではないか。その委員会に必要な人数などから追っていった方がいい。定数削減し、公営制度を導入し、議員報酬を上げるのは違和感がある。	(意見)	
無投票は良くない。市民の評価を得るべきだ。そのための単純な理論で定数削減ということではなく、なぜ立候補者が無いか分析することが必要だ。	(意見)	
政治に関する興味関心度が低くなっている。それを高める取り組みが必要である。傍聴人数も少ない。土日や夜の議会、報告会を増やし関心を高める工夫をしてほしい。	(意見)	
【市政全般について】 町内の公園に仮設住宅をいつまで残しておくのか。	災害公営住宅が順次完成していく。それによって引っ越していくことになるが、仮設住宅は集約化が進む。	
公営住宅の民間管理とあるが、これは災害公営住宅を含むものか。	市の公営住宅のことである。将来的には委託することを検討している。	
再生可能エネルギーに対して議会ですぐ取り組んで行くのか。	定住促進対策の環境分野の中で議論していきたい。市でも大きな課題として取り組んでいる。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
防災組織について、作ることは良い事だが、５～６年経つと高齢化等で活動が出来なくなっている。今後、活動できる組織として考える時期だ。	(意見)
小沢地区の一部で防災無線が全然聞こえない。そこにスピーカーを付けてほしい。	(要望)
道路の陥没改修は市道管理だけか。認定されていない私道はどうなのか。	道路については担当課にまず連絡してはどうか。
北部環状線道路整備で出た残土だが、運搬の苦情も出ている。当初、山の谷間に仮置場という話だった。そのまま有効的に本置場として埋めて利用できないものか。遠くに運ぶより経費も少なくなるのではないか。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 10時00分～11時30分 会場:門馬地域振興センター	8名	〔3班〕 坂下正明 鳥居晋 須賀原チエ子 橋本久夫 坂本悦夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
選挙公営制度は進めてもいい。議会内容についても川井テレビを通じて紹介してほしい。パソコンで見る人は少ない。録画でもいいから川井テレビでも放送してほしい。	(要望)	
定数は第三者委員会等で検討することはないのか。公営制度については広大な面積の中でポスターを貼るより、チラシや広報でやってもいいのではないか。それが効果的ではないか。	(意見)	
定数を減らしてもいいが働いてもらいたい。報酬も上げてもいいし、とにかくいろんな話を聞く機会を作ってほしい。期待したい。	(意見)	
シカ被害がとても深刻だ。その対策にも経費がかかる。シカとクマの仕掛けも違う。環境整備としてマビキしてほしい。	(要望)	
シカ被害で作付面積が減って来ている。器具の効果もない。仕掛けにも慣れてすぐ逃げて行く。5年間のうち作付を止めた畑がこの写真だ。門馬の高原野菜がダメージを受けている。	(意見)	
区界は西の玄関口と言われているが、具体的な振興策はあるのか。人口減少に歯止めがかからない中で、こちらからの提案だが、定住化のための分譲住宅を設置してはどうか。合わせて牧野の振興計画と、区界トンネルが完成後、ここは裏通りになる。	(要望)	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
そのための具体的対策を考えてほしい。	
トンネルによりビーフビレッジ区界が使えなくなる。そこで働いている人たちの雇用の場の確保を望みたい。あの施設を車の待避所などにして、道の駅の機能を持たせてほしい。	(要望)
森林についてだが、全伐せずに計画的にいい木を残して行ってほしい。知らないうちに伐られていることがある。森林育成に時間がかかるので、山も守ってほしい。	(要望)
門馬小の通学路の確保をお願いしたい。ここには通学路がない。定住人口の歯止め策についてだが、ここにも教員住宅があるので、これらの利用も検討してみてはどうか。空き家は取り壊さないと安全面で不安がある。	(要望・意見)
門馬出張所までバス停からかなりの距離だ。高齢者は歩くのが大変だ。門馬小学校に出張所や郵便局などコミュニティ機能として集中して整備できないものか。	(要望)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 14時00分～15時30分 会場:川井生涯学習センター	7名	〔3班〕 坂下正明 鳥居晋 須賀原チエ子 橋本久夫 坂本悦夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
公営制度は導入すべき。遅すぎた感がある。立候補者の幅が広がると思う。	(意見)	
本来の姿の定数と言うのは住民の代表としての数ではないか。削減しても住民の意見を反映させることができるのか疑問だ。	(意見)	
公営制度を導入しても果たして立候補者がいるのか心配だ。削減すればまた次に20人、18人という話になるだろう。削減するのなら、削減したなりの活動を求めたい。	(意見)	
人口減少時代で税金も入らない。定数削減は賛成である。しかし合併して広がったが、議会の活動実態が伝わってこない。	(意見)	
市民の意見の受け入れ先が議員だ。削減は仕方ないが人口だけで考えるとこの地区は1～2人となる。削減した場合、意見の受け入れ先をどのような形でもっていくのか明確にすべきだ。	(意見)	
公営制度導入は歓迎しない。自らの意欲を持っていないと前進しないのでは。報酬は、生活との関連との話があったが、自分の生活に不安を持っている立場の者なら、十分な住民対応が出来ないので住民とすれば疑義を感じる。	(意見)	
定数については小選挙区にしてはどうか。旧川井1人、新里1人、田老1人。定数削減すると個々の関係はあるが、これからは旧町村部から議員は出ないだろう。	(意見)	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
除雪は何を基準に行っているのか。地区によってやってもらえるところ、やってもらえないところがある。優先地域は分かるが、残したところもしっかりやってほしい。	除雪については市民の要望、苦情は多い。平等にやってほしいということを担当課に伝える。
シカ被害で大変困っている。網も破られる。電気撲冊も効果がない。対策を考えてほしい。また駆除した場合、申請書類も管轄によって違う。	(要望)
市庁舎が駅に移転するというが、駅周辺に集めるのはいかがなものか。中心市街地の活性化が大義名分だが、活性化は市庁舎移転だけで終わるのか。本当に活性化になれば定住化にもなると思うので、活性化策を検討してほしい。	(要望)
シカ被害だが、夜、車にぶつかってくる。3回被害にあった。農作物の被害は大きいので対策を講じてほしい。猟友会との関係も含めて遠野市を参考に研究してほしい。	(要望)
捨てネコの糞尿で困っている。餌もやる人もいて住宅付近の匂いがひどい。何か対策はないか。	(要望・意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 26 年 11 月 21 日（金） 19 時 00 分～20 時 45 分 会場：鯉ヶ崎学童の家	6 名	〔4 班〕 長 門 孝 則 小 島 直 也 佐々木 清 明 古 舘 章 秀 佐々木 勝 茂 市 敏 之
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
宮古は面積が広いので議員数は減らさないと聞いていた。	個人の意見としてあったが、議会運営委員会で 22 名に決めた。	
議員の報酬は引き上げなくてもいいのでは。	上げると決まったわけではない。最終的には報酬等審議会で決まる。	
保育の質を上げるために保育士の処遇を上げるべきだ。	市当局で決めている。	
区画整理事業の中で家を建てたいが、市から 200 万円の支援では建てることできない。増額を望む。	（要望）	
新しいまちづくりにおいて、ごみ収集場所の設定が難しい。どこに電柱が立つのか、カーブミラーがどこに付くのか。	新しい生活が円滑に行われるよう市なり、社協がリードすることになる。住民も勉強会を開いたり、住民同士で相談するなど努力してほしい。	
誰が新しい鯉ヶ崎に戻るのかわからず不安だ。町内会組織をつくるのが難題だ。	（意見）	
復興の平成 28 年からの計画を示してほしい。	担当課に伝える。	
計画より実際の工事が遅れていることを知らせてほしい。	遅れる原因があったが、持ち直している。	
介護予防に取り組みたくても何の連絡もない。	被災地では遅れている。保健推進員が連絡している。	
交通量の激増により、大型トラックなど危険に感じる。	（意見）	
子どもの遊ぶ所がない。学校の校庭も閉じられている。	事故があってからでは遅いので閉鎖している。	
被災者の医療費負担の免除を延期してほしい。	現時点で国の方から通知がないが、免除は継続されると思う。	
浄土ヶ浜道路の橋の強度の心配はないの	調べて報告する。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
か調査してほしい。	
鯨ヶ崎の産業、とりわけ水産加工業が一年を通して仕事があるように企業誘致してほしい。	国道 106 号線の時間短縮などに期待を寄せている。冷凍施設や販路の確保も必要である。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 10時00分～11時50分 会場:弘川地区会館	7名	〔4班〕 長 門 孝 則 小 島 直 也 佐々木 清 明 古 舘 章 秀 佐々木 勝 茂 市 敏 之
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
議員報酬をアップして20人ぐらいの議員でやるべきだ。世のため人のため、市民目線で働いてほしい。	報酬アップは難しい。	
選挙公営制度を導入すべきだ。議員は専門家として頑張ってもらいたい。	議会運営委員会で導入することにした。(意見)	
将来の展望は。漁業・観光など雇用の推進は。企業誘致はどうなっているか。	様々な問題が山積している。宮古の工業用地に該当する企業がなかなかない。企業が来やすいように規制緩和が必要である。受け皿をつくるべきだ。工業地と農地との立て分けがあいまいで、しくみづくりができていない。	
滞在型の観光に力を入れよ。新里・川井地域の地の利を生かし林業の振興を図ってほしい。	(意見)	
住環境の面で復興がかなり遅れている。県の事業はどうなっているのか。	県に伝える。	
高浜・金浜堤防を壊して造るのは愚かだ。	(意見)	
宮古はスポーツ施設が無いに等しい。	赤前に野球場の原形復旧が計画中である。	
道の駅を設けて地区を活性化したい。	(意見)	
企業を市長がトップセールスマンになって引っ張ってきてほしい。	(意見)	
宮古は土地が高い。	(意見)	
地元働く場所を確保して、高卒の人たちを宮古にとどめることが必要だ。	(意見)	
港湾の活用はいかがか。	開港400年記念行事に期待している。物流の拠点、また船を利用した修学旅行等の寄港地になるよう本気になって頑張りたい。釜石、大船渡に負けないようフェリーの誘致な	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
	ど県に働きかける。
浄土ヶ浜の観光を滞在型に。	(要望)
山田線の復旧時には新駅として八木沢駅、金浜駅をつくってほしい。	(要望)
弘川に無人駅も必要だ。	(要望)
個人の建設屋にとってコンクリート不足が大問題だ。仕事ができなくて困っている。	市当局に伝える。
老々介護が直面、不安だらけ。介護福祉が現状に追いついていない。	職員が不足している。またヘルパーの処遇が悪いのが問題である。
グループホームの運営は金もうけのためにやっているのではないか。	(意見)
冬の雪道対策、道路の補修について、市道はいいが、私道は除雪もされないので困る。	担当課に伝える。
除雪が国道・県道と市道とで格差がありすぎる。	市当局に伝える。
津軽石小学校裏に保育所・公民館・第 20 分団等の建設予定があるが、以前の計画を縮小しないでほしい。	市当局に伝える。
災害公営住宅に民間の管理者を置くと聞いているが、どのような仕事をするのか。町内会活動との兼ね合いが難しくなる。	できてみなければわからない。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 14時00分～16時00分 会場:磯鶏公民館	11名	[4班] 長 門 孝 則 小 島 直 也 佐々木 清 明 古 舘 章 秀 佐々木 勝 茂 市 敏 之
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
山田線復旧した際に八木沢駅を設けてほしい。	(要望)	
サーモンハーフマラソンのコースについて、八木沢団地内に電柱が真ん中に立っていたり、水たまりの所があったりで、本当に公認コースなのか。	現地を見て教育委員会に伝える。	
仮設から公営住宅に移る際の抽選にもれ、不安がつのり病気がちの人がいる。ケアをお願いしたい。	(要望)	
中学生までの医療費負担をゼロにしてほしい。	担当課に伝える。	
山田線の復旧のための市民の決起大会などして早期の復旧を図ってほしい。	担当課に伝える。	
藤の川の防潮堤の計画は寝耳に水でした。ちゃんと市民に知らせるべきだ。	(意見)	
金浜地区の造成の進捗状況を地区の住民に知らせてほしい。	担当課に伝える。	
老人施設が足りない。入所を待たされている。施設を増やさないのか。	増床しても働く人が不足の状態である。	
放射能が心配だ。市民が理解できるように報告をきちんとしてほしい。パソコンを使わない人に伝える手段をしっかりと作ってほしい。	市のホームページで教えている。	
市民の声を聴く心構えをもってほしい。	(意見)	
議員の定数が減ったら大丈夫か。	大丈夫。頑張ります。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月21日(金) 19時00分～20時45分 会場:千徳公民館	6名	〔5班〕 高橋秀正 近藤和也 内館勝則 北村進 佐々木重勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
運動施設が足りない。姉ヶ崎温水プールも遠い。高齢化が進む中で通年使える施設が必要だ。	赤前の運動公園は現在地で復旧する。少子高齢化の中で必要性は認識するが、難しい問題だ。意見として当局に伝える。	
タラソの施設の復旧は。	震災を受け復旧するには多額の費用がかかること、また赤字続きなことから廃止撤去した。	
最近復興が始まったと感じる。仮設住宅の今後の見通しは。	現在、1400世帯2800人が仮設住宅に暮らしている。市、県で793戸の災害公営住宅を建設予定。	
北部環状線、三陸沿岸道路等の進捗状況は。	三陸沿岸道路・復興支援道路はすべて発注済で31年完成を目指し工事中である。北部環状線は山口～宮古病院までは28年完成の予定。西ヶ丘～山口間はその後の予定である。	
宮古は観光の街だが、新規に道路が開通すると通過交通が増えるだけになる。将来のビジョンは。	観光客誘致には公共交通（山田線）の復旧も大事だ。また交通の便が良くなるとストロー現象により街はますます疲弊する。議会では定住化促進策の取組を全員で行っている。	
町内に復興住宅の建設が始まった。地域での取組の中、入居者の名簿が必要だ。役所では教えられないとのことだが、何とかならないのか。	個人情報保護法律の関係で、仮設住宅でも問題になっている。この件は当局に伝える。	
宮古の文化・芸術の取組が少ない。	定住化促進対策特別委員会の部会で文化・芸術の話は出ていかに醸成していくかを考えたい。	
「しるしる宮古」と言う冊子がある。歴史などを子どもたちに伝えることから、教育の中で取り上げられないか。	子どもたちに歴史教育は大事だ。教育委員会に伝える。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員定数削減となる話だが、委員会は。	現在 4 常任委員会あるが、定数削減のおりは 3 委員会になる予定。
今回の市議会選挙は無投票のため新人の考えがわからない。広報に新人の意見を掲載できないか。	公職選挙法で掲載できないことになっている。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 10時00分～11時45分 会場:新里福祉センター	7名	〔5班〕 高橋秀正 近藤和也 内館勝則 北村進 佐々木重勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
廃線になった岩泉線だが、地元でその後の利活用の話が出ているようだが聞いているか。	交流人口を増やすため、地元で活性化策を考えているようだが、正式には聞いていない。	
不登校の現状は。また新里地区で学校統合がなされる場合、影響は。	不登校の原因は、震災の影響が大きい。学校ではスクールカウンセラーが対応している。新里地区で統合になった場合、四つ葉の学校などで一緒に学習している状況があるから心配はしていない。	
学校統合の問題で、地域が疲弊してしまう。子供のいない地域には将来がない。	子供のためには学校統合は必要だ。また住民の合意形成、意識改革が必要だ。地域に根ざした学校跡地の利活用策が必要。少子高齢化に対する取り組みは議会としても進めている。	
議会報告会を小規模で開催することはできないか。	前回までは平日の夜間に実施して来たが、今回からは土日の昼間にも実施した。小規模開催となると、日程・時間の関係から難しいと思う。	
部落集会所の管理料はもらっているが、修繕費は制約が多く使い勝手が悪い。なんとかならないか。	要望に沿うように当局に伝える。	
太長根部落だが、降雨時に県道から下流の市道に雨水が流れこむがどうにかならないか。	担当課に伝える。	
宮古市の将来をどう考えているか。限界集落の話もあるが。	限界集落については、集落移転政策の考えも必要だ。市で進めているコンパクトシティの考え方が必要となる。	
地域創造基金の今後は。	平成27年3月で終了となる。市では協議会の推移を見守り対応を考えている。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
学校の机・椅子を宮古の木材で制作している。産業振興に繋がる思いから前項発信できないか。	家具を始めとした木工品が特産品に繋がる可能性は高い。担当課に伝える。
新里地区は、豪雨により土石流の危険がある。ハザードマップの作成は。	指定派遣で、全危険箇所の把握はまだだと思ふ。ハザードマップの件は、確認後知らせる。
墓目では復興工事車両の増加に伴い、舗装道路の痛みが激しいが、補修を迅速に施工するようにできないか。	建設課に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時:平成26年11月22日(土) 14時00分～15時45分 会場:花輪農村文化伝承館	8名	〔5班〕 高橋秀正 近藤和也 内館勝則 北村進 佐々木重勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
宮古市は2040年には人口が3万人との予測であるが、これに対し企業誘致、人口流出など今後の取組は。	市の考え方は総合計画などで議会に示されているが、議会としても人口流出・少子高齢化時代を迎え、雇用・住宅・子育て等の課題解決のため議論して来年9月を目処に市に提言したい。	
ブルーチャレンジプロジェクトの木質バイオマスの計画は。	復興予算で実行しようと復興庁に予算請求をしているがまだ認められない。	
田鎖地区の排水対策を長年要望してきたが、どうなっているのか。	現在工事中だ。確認する。	
長沢川の浚渫と立木の除去を毎年要望しているが。	県要望にも毎年上げている。	
雇用の問題もあるが、独身者の遊ぶスポーツ・娯楽施設がない。	人口減少問題の関係で前から言われているが、市・民間の立ち位置を考えていく必要がある。	
職業訓練が終わっても、求人倍率は高いがミスマッチで希望の職種がない。	建設・復興関係の職種はあるが、ミスマッチが起こっている。大きな問題として受け止める。	
復興の進捗状況は。	災害公営住宅は、平成28年には全戸完成予定で進んでいる。	
農協前の歩道、水路整備を願いたい。	建設課に伝える。	
定数減による委員会構成は。	4常任委員会から3委員会となる予定。	
定数減になった時、住民の意見は拾えるのか。	そのような声もあるが、一層議員としての職務を発揮していく。	
公営選挙は取り入れるべき。	議員間ではその方向で進んでいる。	